

第3回 児童館・児童クラブ運営委員会 会議概要

1	審議会名.....第3回 児童館・児童クラブ運営委員会
2	日.....時.....平成20年1月17日.....午後3時30分から午後5時20分まで
3	会.....場.....穂高健康支援センター.....集団指導室1.....
4	出席者.....瀧澤委員、内川委員、内田委員、小川委員、下田委員、 種山委員、浅川委員、小林委員、勝浦委員、三原(壽)委員、 矢花委員(欠席者：関委員、深澤委員、小河委員).....
5	市側出席者.....安藤課長補佐、白澤主事
6	公開・非公開の別.....公開.....
7	傍聴人.....0人.....記者.....0人
8	会議概要作成年月日.....平成20年2月5日
協 議 事 項 等	
1	<p>会議概要</p> <p>(1) 開 会</p> <p>(2) あいさつ</p> <p>(3) 議 事</p> <p>①アンケート結果報告</p> <p>②平成20年度児童クラブ入所説明会について</p> <p>③その他</p> <p>(4) 閉 会</p>
2	<p>議事概要</p> <p>①アンケート結果報告</p> <p>瀧澤会長：南穂高児童館と高家児童館からお願いします。</p> <p>矢花委員：アンケートの回収は半分くらいです。要望は、遠慮なく書いていただいたという感じがしています。指導員が気をつけることも見えてきましたし、アンケート自体やってよかったという感想をもっています。とくに、「時間を長くしていただきたい」とか「学年をあげていただきたい」とか「長期休みの受け入れ」ということです。豊科地区はいつも定員を超えて児童館に子供を入れているので、その部分が不満に思っているところだとひしひしと感じました。定員を超してしまうということは、館の大きさとか指導員の人数とか鑑みてみても、どうしてもそこは譲れないもので、安全性ということが一番頭にありますので、その部分はどやって考えていくのか一緒に考えていかなければいけないということが課題として残りました。</p> <p>瀧澤会長：明科地区では21世帯のうち16世帯から回答がありました。明科地区は18年</p>

度までは4年生まで見ていただいていたのですが、19年度から3年生以下となったものですから、それについてのギャップが大きいようです。前回からも懸案事項となっていますが、3年生で区切るのではなく4年生まで見ていただきたい。強いて言うなら4年生だけではなく親が望むのであれば小学生、中には中学生まで見ていただけないかというご意見がありました。低学年、高学年と区切る関係で3年生以下となっているようですが、長期の休みというのは、朝、親御さんが仕事に出てから帰るまで、ずっと家に1人であるというのは子供にとっても心細いですし、親としても心配です。そうすると仕事の時間を調整するとか、仕事を変えるという方が一世帯ありました。ほとんどの方は複数回答で、心配だけれど仕方がないので子供だけで留守番させるか、あるいは、児童館を自由来館という形で利用し併用したいという形が多かったです。

もう一つは、特に長期休みや学校の休日の朝からの利用です。基本は8時半からですが、明科地区は時間外ということで8時から見ていただいています。それでは仕事に間に合わないのもう少し早く7時半から要望したいという意見が多くございました。特にこの2点に対しての意見が多くございました。それから自分たちの学区外から来なければいけないということで抵抗があるのかなということを思いました。子供の安全のことを考えるのであれば、バスを用意して児童クラブまで送迎をお願いしたいという意見がございました。自由来館をしていた方が中高生の方とのいざこざというか嫌な思いをしたので、先生にもクラブだけではなくて全体を見ていただけたらという要望もございました。児童クラブとしては、大変よく先生にみていただいているので有難いと思っている方が多かったです。もうひとつ子供が先生の言葉で傷ついてしまって、児童クラブに行きたくなくて困ったという事例があったようです。その点については先生と保護者も心を割って話をしていけば、この問題については解決できることだと思います。

勝野委員：前回お話したことと重複いたしますが、穂高地区で利用されている児童の保護者の方の一番の希望は、4年生以上も預かっていただきたいということが一番多いことと、4年生以上現状のシステムのままですと、自由来館という形で受け入れていただきたいと。児童が家へ帰ってランドセルを置いてからまた来るというシステムを変えていただかないと、遠くて利用できない。地域的なこともございまして、学校や児童館から4キロ以上離れている子供が多いという状況がございまして、学校からまっすぐ行きたいという意見が一番多い。前回個々で取り上げさせていただきましたところ、児童館単位で決めていただければというお話をいただきましたので、立ち上げるために動いています保護者会で、今後その辺を取りまとめまして、児童館や市の関係

の方と協議して、自由に学校の帰りにすぐ行けるようにできればと考えております。

朝、学校が休みのときの8時半からというのをもっと早い時間にしてほしいという意見もたくさん出ています。私としましては、前にここでご返事いただきましたように、職員のみなさんの勤務体制のシフトの調整もあるということですので、その辺も加味していただいて受益者負担ということを考えれば有料になっても仕方ないと考えております。それとこのアンケートにお答えいただきまして、それ以後どうなったのかというご意見もでないかと思ひ、このようにアンケートを利用したことと、個人的に参加した「市長と語る会」で市長にお願いしたことをまとめて、小林先生にお願いして全員に配っていただきます。児童館運営委員会は何をやっているのかを見ていただくために、ホームページでこの会議の概要を閲覧できますということを一枚にまとめました。それを配っていただくような形でやっております。

福田委員：三郷はアンケートがまとまっていないので、保護者会の中で出ている件でお話させていただいてよろしいですか。

4年生以上も受け入れてほしいというのは毎回保護者会で出ております。長期が8時半というのは保護者にとってはかなりきびしい。三郷の場合は、保護者会が朝当番というのを決めまして、長期休みの間は保護者が7時50分から一人ずつ当番で来ているようにしていますが、ここ数年人数が多くて夏休みで25～26人、8時過ぎくらいからが多く、朝ロビーの前で待っております。子供たちはちゃんとおとなしくしてくれていますが、人数が集まれば集まるほど低学年の子は走りまわりたいわけで、危険のないようにと朝当番の保護者が見ていますけれども、少々不安な部分があります。

もうひとつは、三郷の場合児童館が平成20年の4月か5月あたりにできるわけですけど、どのような利用ができるかということが、全三郷地区の世帯に連絡がないものですから、年長のお子さんのいるご家庭では、たとえば児童クラブに申し込まなくても自由来館で行けるのかどうかとか、情報がなくて不安になっている方があるのではないかと思います。今年になりまして料金があるにしても6時半までの延長が出来たことですか、少ない予算のなかでおやつをすごく工夫して作ってくださっていますし、長期につきましてもたしか去年は月割りと言われまして7月に数日出しても1か月分費用を出さないといけなかったんですが、今年は日割りになったので長期の子達にとっては大変助かっています。

瀧澤会長：堀金のアンケートの結果報告をお願いします。

小川委員：堀金児童クラブは57名在籍しておりまして23名の方から回答をいただきました。期間が短いので回収率が悪かったのですが、端折って説明しま

す。児童クラブに対して、今預けている親御さんたちがどのように感じてもらっしやるか、今後の要望についてひとくりにまとめてみました。

ほんとうに必要な不可欠な施設だということは皆さんすごく感じていて、有難い施設だということです。それにつけては、3年生までではなく4年生以降の子供も受け入れをしてもらいたい。受け入れしてもらえなくなった場合の不安、どうしていったらいいのかという迷いや悩みが親の中にすごくあるということが受け取れると思います。子供たちにとっても、児童館・児童クラブという施設が、場所もそうですが人間関係の中においても、生活面の1日の時間においてもすごく楽しいところであり、自分たちにとっても必要なところであるということが、親としてもそれを感じているし子供自体も児童館に行きたいということを望んでいるということが出てきていると思います。今現在4年生以上となるとどうしたらいいかという、一人で留守番させる子供だけの家庭の留守番になってしまうということが問題で、そこを考えてもらいたい。とてもそれが不安でかといって親はどうするか、仕事はやめられないので結局置きっぱなしになってしまうという状態が予想されるということです。児童館が建設されるという噂があるけれども、早く造ってもらいたいし、4年生以上を受け入れてもらえるような施設であってほしい。

長期休みの間は、今8時半からですけども仕事に間に合わないのもその時間をなんとかみてもらいたい。また、開くまでの間は児童クラブの前で子供たちが待っている状態です。建物がまだ開錠されていないので建物の外で夏はいいけれども、冬は寒い中で子供たちが待っているという現状があります。車の通りの激しいところに面していますので、安全面でもやはり早めの開館を要望しているという現状です。今の保育所の所を学童の子供たちの居場所として利用させてもらいたいとの切な希望だと思います。

瀧澤会長：今堀金の話がありましたが、児童クラブで4年生以上を見ていただきたいということと、長期休みとか休日のときに朝8時半ではなくもう少し早い時間からみていただきたいという2点に絞られています。その2点については、早急に解決して利用する側にとっていい児童クラブであるように保護者の方は望んでいるところです。堀金児童館はいつ建設になるかわかりませんか。

事務局：実施計画では来年設計という計画です。

瀧澤会長：建設となると3、4年先になるということですね。そうなると堀金地区の方には申し訳ないですけど、今一番問題になるのは4年生以上という話です。それを一番に要望していきたいということですね。

順番をすぐに実現できそうなことからという意見もありましたし、そのへんどうしましょうか。一応要望は要望としていくつもあげておいてもいいと思いますが。

事務局：できることから詰めていったらどうでしょうか。

瀧澤会長：朝早くからと4年生以上ですね。

事務局：プラスマイナスゼロの予算だと認められますが。：20年度から県や国から来る予算が削られているなかでの事業です。

瀧澤会長：そうなる要望してもすべて無理となってしまいますね。

事務局：保護者の皆さんが私たちはここまで努力しますから、市もここまでやってくれませんかということだと有難いと思います。

事務局：4年生以上の受け入れということで、今回は社会教育の子供プランの係長も一緒に話をしたいと思います。

②平成20年度児童クラブ入所説明会について

事務局：来年度の入所児童を対象にした説明会を行っております。資料として保護者の方にお配りしておりますので、目を通していただければと思います。申請書等はホームページからもダウンロードできるようにしました。募集の内容も掲載してありますので、お時間がありましたら見てください。募集期間は2月いっぱいです。今年度から添付書類で、就労証明書や医師の診断書等児童クラブに入所したい理由の証明となるものを添付していただいて、不平等が無いように申請を受けていく形に変更させていただきましたので、ご理解ください。

③その他

勝浦委員：ひとつお願いしたいことがあります。保護者会の裁量とありますが、もう少し何かいただければと思いますが。例えば、冬休みにカレー会をやりたいということで、おやつ代の中で賄えない部分が出てきてしまう。100円ずつ集めたいということで、保護者会の意見で集めますということをお認めいただければと思います。

事務局：保護者のみなさんで出し合ってやっていただく事業に関してはやっていたいて結構です。

勝浦委員：集めていただくのは先生方になってしまうんですが。野菜等ご自宅の畑で採れたものを寄付していただくお願い等も含めてやらせていただければと思います。

次回開催日程について

平成20年4月24日（木）午後3時から